

石川県の農林水産業の概要

特徴・取組

石川県は、東は富山県、岐阜県に、南は福井県に接し、北は能登半島となって日本海に突出しており、南西から北東に向かって細長い形状である。冬期は、日照率が低い日本海側の気候であり、雪の降る日が多くなる。雷発生日数は日本で一番多い。

国際的な競争力を有する機械メーカーと、これらを支える機械加工等幅広い分野にわたる協力企業群が存在している。また、加賀百万石の優れた食文化を背景とした特徴ある食品メーカーが多数存在している。

加賀地域の平坦部は稲作地帯で、農業法人や大規模経営農家が多い。一方、能登地域は、中山間地域が多いことから、小規模農家の比率が高い。また、加賀野菜・能登野菜などの伝統野菜、豊富な魚介類だけでなく、九谷焼・輪島塗に代表される伝統工芸、無形文化遺産に登録された「奥能登のあえのこと」などの有形無形の資源が融合した食文化が県民の暮らしに浸透している。

北陸新幹線開業による観光客増加に伴い、県内の飲食店では県産農産物の取扱量が増加している。石川県が開発したオリジナル品目「ルビーロマン（ぶどう）」「加賀しずく（日本なし）」「エアリーフローラ（フリージア）」「ひやくまん穀（米）」「百万石乃白（酒米）」「のどてまり（原木しいたけ）」「能登とり貝」「能登牛（肉用牛）」の更なるブランド化に取り組んでいる。GIについては、平成28年「能登志賀ころ柿」「加賀丸いも」が登録されている。

能登地域は、昭和25年をピークに人口減少が進む中、平成23年、「能登の里山里海」として世界農業遺産に認定され、能登棚田米のブランド化や環境に配慮した能登米づくり、農家民宿の取組など、多様な地域資源を活用した「地域作り」等の取組が広がりを見せている。

主な農林水産物

米

県が開発した新品種の米「ひやくまん穀」は、食味が良く、大粒で食べ応えがあり、冷めても美味しいのが特長。



ぶどう

県が開発したぶどう「ルビーロマン」は、巨峰の約2倍の大きさ、鮮やかなルビー色が特長。



日本なし

県が開発した新品種の梨「加賀しずく」は、ジュシーで酸味を抑えた上品な甘さと、なめらかな口当たりが特長。



花き（フリージア）

県が開発した「エアリーフローラ」は、日本人の好みに合う中間色と、カラーパリエーションの豊富さが特長。



肉用牛

「能登牛（のとうし）」は、石川の美しい自然や素朴な風土の中で丹精込めて育てられており、きめ細かい肉質と上質な脂によるとろけるような食感が特長。



しいたけ

奥能登地域で栽培されている原木しいたけ「のど115」の中でも傘の大きさが8cm、肉厚3cm、巻き込みが1cm以上の特秀品を「のどてまり」として認定。



とり貝

「能登とり貝」は、餌となる植物プランクトンが豊富な七尾湾で育成されたとり貝で、天然貝と遜色なく、大きく肉厚でほどよい歯応えと上品な甘みが特長。



ぶり

石川県沿岸海域の定置網で11月から翌2月にかけて漁獲された7kgを超える上質なぶりを「天然能登寒ぶり」として認定。（ぶり類漁獲量全国7位）



干し柿（ころ柿）

GI産品である「能登志賀ころ柿」は糖度が高い最勝柿を使用し、甘さ、鮮やかな餡色の外観、緻密で柔らかい果肉が特長の干し柿。（生産量全国12位）



百万石乃白（酒米）

県が開発した新品種で、高精白しても割れにくいのが特長。すっきりとした味わいとフルーティーで香り高い大吟醸を造ることができる。



石川県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】

水稲：代表品種

- ①コシヒカリ②ゆめみづほ
- ③ひやくまん穀④能登ひかり

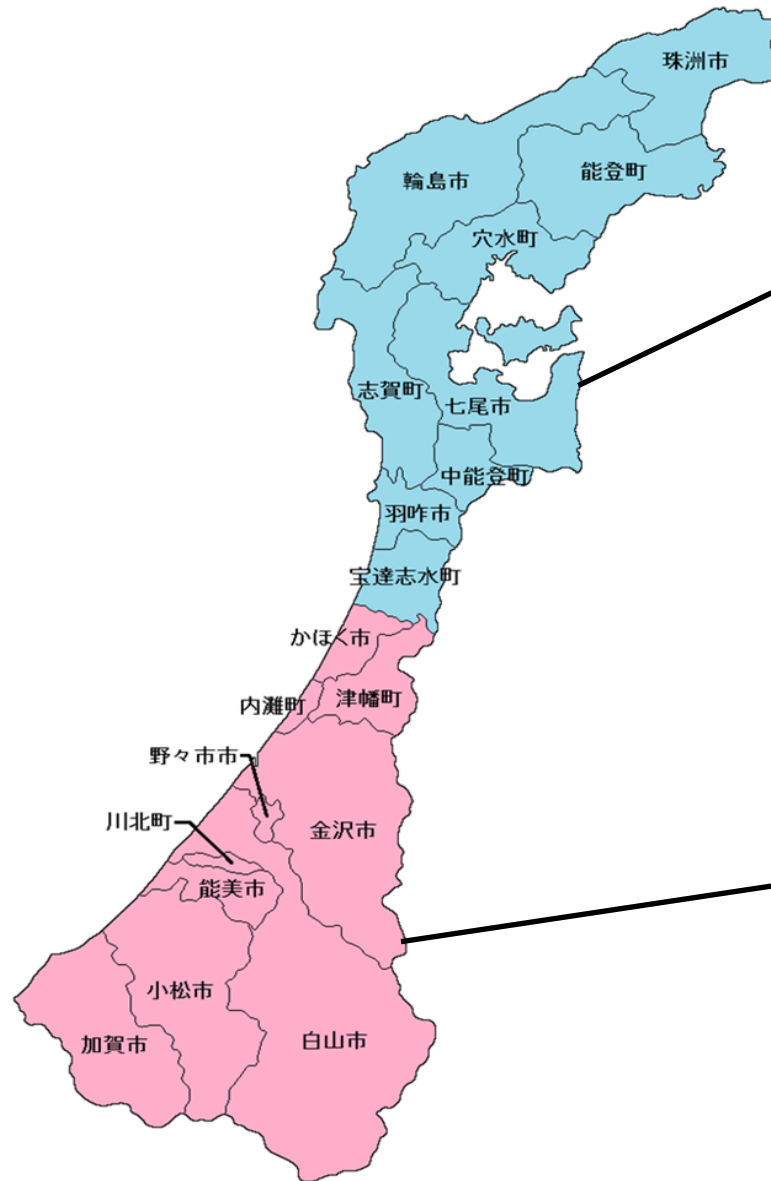
大豆、六条大麦、そば、すいか、メロン、かんしょ、だいこん、エアリーフローラ（フリージア）、ぶどう、ルビーロマン（ぶどう）、能登牛（肉用牛）、能登豚（豚）、生乳

【林産物】

すぎ、あて（ヒノキアスナロ）、生しいたけ、木炭、薪

【水産物】

さわら、はたはた、にぎす、ずわいがに、べにずわいがに、いか



能登地域

【農産物】

ねぎ、とうがん、ころ柿（干し柿）、いちご、小豆、くり、ブルーベリー、能登野菜、ギンナン

【林産物】

のとてまり（原木しいたけ）、乾しいたけ、まつたけ

【水産物】

ふぐ、ぶり、ふくらぎ（ぶりの幼魚）、まだら、かき、ばい貝、さざえ、とり貝

加賀地域

【農産物】

トマト、丸いも、ブロッコリー、いちご、きゅうり、キウイフルーツ、こまつな、キャベツ、まこも、加賀野菜、イチジク、日本なし、ゆず、もも、りんご、加賀しずく（日本なし）

【林産物】

たけのこ、なめこ、わさび

【水産物】

かれい、たい、あまだい、甘えび

出典：石川県HP、金沢市HP、能登野菜振興協議会HP、JAグループ石川HP、北陸農政局HP「かなりいいはなし」を基に作成

石川県の農業（1）

- ・耕地面積は4万600haで全国第33位。内訳は田が3万3,700haで耕地の83%。
- ・担い手への集積面積は2万5,457haで全国第24位。集積率は62.4%で9位。
- ・農業経営体数は9,890経営体で全国第45位。
- ・基幹的農業従事者数は9,756人で全国第44位。うち65歳以上は80.0%で、全国平均より10.4ポイント高い。

耕地面積

区分	石川県	全国	全国順位
耕地面積	40,600 ha	4,349,000 ha	33
田	33,700 ha	2,366,000 ha	30
畑	6,830 ha	1,983,000 ha	37
普通畑	5,090 ha	1,126,000 ha	33
樹園地	1,240 ha	263,200 ha	43
牧草地	503 ha	593,400 ha	24
参考) 総土地面積	418,620 ha	37,797,463 ha	35

出典：「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	石川県	全国	全国順位
荒廃農地面積	5,086 ha	281,831 ha	23

出典：「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区分	石川県	全国	全国順位
担い手への集積面積	25,457 ha	2,535,115 ha	24
集積率	62.4 %	58.0 %	9

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	石川県	全国	全国順位
農業経営体数	9,890 経営体	1,075,705 経営体	45
法人経営体	468 経営体	30,707 経営体	30
総農家数	15,874 戸	1,747,079 戸	45
販売農家	9,263 戸	1,027,892 戸	45
参考) 世帯総数	469,910 世帯	55,830,154 世帯	35
集落営農数	293 集落営農	14,490 集落営農	23

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	石川県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	9,756 人	1,363,038 人	44
男	6,459 人	822,144 人	44
女	3,297 人	540,894 人	42
65歳以上	7,807 人	948,621 人	43
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	80.0 %	69.6 %	-
認定農業者数	2,194 経営体	233,806 経営体	31
法人数	407 法人	26,080 法人	31
参考) 総人口数	1,132,526 人	126,146,099 人	33

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

石川県の農業（２）

- ・農業産出額は535億円で全国第43位。内訳は米が281億円で農業産出額の53%。
- ・農畜産物の生産状況は、六条大麦が全国第4位、すいかが9位、干し柿及びメロンが12位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が125億4,900万円で全国第38位。事業体数は160事業体。

農業産出額

区分	石川県	全国	全国順位
農業産出額	535 億円	89,557 億円	43
米	281 億円	16,551 億円	21
麦類	1 億円	521 億円	24 *
雑穀	0 億円	77 億円	25
豆類	4 億円	712 億円	24
いも類	17 億円	2,391 億円	20
野菜	101 億円	22,520 億円	45
果実	34 億円	8,741 億円	41
花き	6 億円	3,080 億円	46
工芸農作物	1 億円	1,553 億円	38
その他作物	1 億円	697 億円	34 *
畜産	88 億円	32,279 億円	39
肉用牛	13 億円	6,863 億円	39
乳用牛	24 億円	9,310 億円	39
生乳	22 億円	7,798 億円	38
豚	15 億円	6,596 億円	39
鶏	35 億円	8,724 億円	38
鶏卵	34 億円	4,577 億円	31
ブロイラー	- 億円	3,621 億円	- *
その他畜産物	0 億円	787 億円	44
加工農産物	1 億円	436 億円	25

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区分	年次	石川県	全国	全国順位	
六条大麦	収穫量	R3	4,680 t	55,000 t	4 *
すいか	収穫量	R2	12,800 t	310,900 t	9
干し柿	生産量	元	46 t	7,473 t	12
メロン	収穫量	R2	306 t	147,900 t	12
ギンナン	収穫量	元	9 t	1,102 t	14
かぼちゃ	収穫量	R2	2,140 t	186,600 t	15
りんご	収穫量	R2	626 t	763,300 t	17 *
イチジク	収穫量	元	82 t	11,578 t	18
ブロッコリー	収穫量	R2	1,770 t	174,500 t	19
こまつな	収穫量	R2	1,150 t	121,900 t	19
水稻	収穫量	R3	125,400 t	7,563,000 t	23

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「果樹生産出荷統計」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	石川県	全国	全国順位	
農産加工	総額	9,598 百万円	946,841 百万円	29
	事業体数	440 事業体	32,400 事業体	36
農産物直売所	総額	12,549 百万円	1,053,366 百万円	38
	事業体数	160 事業体	23,650 事業体	44
農家レストラン	総額	795 百万円	35,696 百万円	16 *
	事業体数	10 事業体	1,360 事業体	35 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

石 川 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は 24.8億円で全国第35位。
- ・ 林産物の生産状況は、まつたけが全国第6位、たけのこが8位。
- ・ 製材工場数は64工場で全国第34位。

林野面積

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
林野面積	278,429 ha	24,770,201 ha	32
国有林	26,111 ha	7,153,338 ha	29
民有林	252,318 ha	17,616,863 ha	29
人工林面積	101,645 ha	10,203,842 ha	37

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
林業経営体数	416 経営体	34,001 経営体	29
法人経営体	35 経営体	4,093 経営体	38

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
林業産出額	24.8 億円	4,286.4 億円	35
木材生産	13.2 億円	1,943.7 億円	32
栽培きのこ類生産	11.0 億円	2,259.6 億円	32

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
素材生産量	138 千m ³	19,882 千m ³	33
針葉樹	121 千m ³	18,037 千m ³	32
あかまつ・くろまつ	10 千m ³	570 千m ³	9
すぎ	101 千m ³	11,663 千m ³	28
広葉樹	17 千m ³	1,845 千m ³	20
まつたけ	生産量 0.2 t	31.6 t	6 *
たけのこ	生産量 535.7 t	26,448.5 t	8
わらび	生産量 11.7 t	509.9 t	10
薪	生産量 1,747.0 層積m ³	83,536.1 層積m ³	11

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
工場数	64 工場	4,115 工場	34
製材用素材の入荷があった工場数	64 工場	4,067 工場	34
国産材のみ	36 工場	3,237 工場	36
国産材と輸入材	25 工場	653 工場	9

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

石 川 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は146億円で全国第27位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業では、にぎす類が全国第1位、ふぐ類及びさわら類が2位。海面養殖業では、かき類が10位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産物直売所の年間販売金額が7億2,900万円で全国第17位。事業体数は20事業体。

漁船隻数

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
漁船隻数	1,814 隻	132,201 隻	26
動力漁船	952 隻	69,920 隻	27

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	1,255 経営体	79,067 経営体	25
内水面漁業経営体数	48 経営体	4,772 経営体	27

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	2,409 人	151,701 人	22
男	2,217 人	134,186 人	23
女	192 人	17,515 人	19

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	146 億円	13,484 億円	27

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	石 川 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	54,532 t	4,182,983 t	23 *
海面漁業漁獲量	53,224 t	3,213,334 t	18
にぎす類	784 t	2,370 t	1 *
ふぐ類	466 t	3,845 t	2
さわら類	1,729 t	16,130 t	2
いか類	5,661 t	82,180 t	4
海面養殖業収穫量	1,308 t	969,649 t	27 *
かき類	1,287 t	159,019 t	10 *
内水面漁業・養殖業生産量	35 t	50,832 t	36 *
内水面漁業漁獲量	19 t	21,745 t	29 *
内水面養殖業収穫量	16 t	29,087 t	37 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	石 川 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	696 百万円	175,132 百万円	27
	事業体数	20 事業体	1,500 事業体	22
水産物直売所	総額	729 百万円	36,489 百万円	17 *
	事業体数	20 事業体	800 事業体	13 *
漁家レストラン	総額	394 百万円	11,822 百万円	12 *
	事業体数	20 事業体	420 事業体	6 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

石川県の農林水産業の話題等（1）

データシェアリング等を活用した新たな農業支援サービス

データ駆動型農業を実現する簡便かつ安価な仕組みを構築し、センシング技術をはじめとしたスマート農業技術の社会実装に向けた取組を行っている。

具体的には、①センシング画像を広域収集する新サービス②管理作業が通知やほ場情報の見える化を行う農作業・ほ場管理アプリ③生産調整等のデータを活用する農業情報クラウドの実証に取り組んでいる。

国としても、白山市・能美市で取り組んでいるスマート農業実証プロジェクトに採択している。



センシング画像収集

農作業・ほ場管理アプリ

石川県オリジナル品目等の一層の販売拡大

石川県が開発したオリジナル品目、ルビーロマン（ぶどう）、加賀しずく（日本なし）、エアリーフローラ（フリージア）、ひやくまん穀（米）、百万石乃白（酒米）を始め、伝統野菜の加賀野菜、能登野菜など優れた品質や特性を持った品目が多くある。

今後は、これらのオリジナル品目について、高級ブランドイメージの一層の浸透や生産出荷体制の整備など、さらなるブランド力の向上に努め、生産や販路の拡大を一層進めることにより、生産者の所得確保につなげていくことが必要となる。



ルビーロマン



エアリーフローラ

水田農業の高収益化を推進するブロッコリー大規模経営スマート化

水田でのブロッコリー生産は、畑と比べ不利な点も多いが、スマート農機を活用することで安定した生産体系を目指している。また、収穫診断システム及び収穫機を活用し、生産規模拡大や加工業務用出荷を可能にする省力・低コストな収穫・出荷体制の確立を目指している。

県の農林総合研究センター等関係機関と、農業者、大手農機具メーカー、青果卸等が連携して、国のスマート農業実証プロジェクトを活用して取り組んでいる。



全自動移植機



全自動収穫機

石川県の農林水産業の話題等（2）

加賀野菜（15品目）

加賀野菜とは、石川県金沢市で生産される野菜のうち、金沢市農産物ブランド協会が「加賀野菜」と認定した伝統野菜。「加賀」は、金沢市を含む旧加賀国を指しており、藩政時代から受け継がれた季節感に富んだ特産野菜が数多く引き継がれている。2021年時点、後述の15品目が認定されている。

- ①さつまいも ②せり
 ③金時草 くきんじそう（和名：スイゼンジナ）
 ④源助だいこん ⑤加賀れんこん* ⑥加賀太きゅうり*
 ⑦加賀つるまめ ⑧金沢一本太ねぎ ⑨たけのこ ⑩へた紫なす
 ⑪打木赤皮甘栗 くうつきあかがわあまぐり かぼちゃ
 ⑫二塚 くふたつか からしな ⑬赤ずいき くサトイモの茎
 ⑭くわい ⑮金沢春菊



加賀太きゅうり



二塚からしな



打木赤皮甘栗かぼちゃ



金時草



赤ずいき



くわい



中島菜



金糸瓜



神子原くわい



小菊かぼちゃ



能登赤土馬鈴薯



能登金時



能登山菜



能登長なす

能登野菜（17品目）

能登の風土を生かした生産が行われ、優れた特長・品質を要する野菜の中から17品目が認定されている。

能登野菜には、能登の伝統食などに育まれ、古くから栽培されている「能登伝統野菜」、能登を代表する野菜として、今後とも生産・販売の拡大を進めていく「能登特産野菜」の二つの分類を設けている。

「能登伝統野菜」

- ①中島菜* ②沢野ごぼう* ③金糸瓜 くきんしうり（かぼちゃ）
 ④神子原 くみこはら くわい ⑤小菊かぼちゃ ⑥かもうり
 ⑦唐川菜 くからこな

「能登特産野菜」

- ⑧能登かぼちゃ ⑨能登赤土馬鈴薯 ⑩能登山菜 ⑪能登白ねぎ
 ⑫能登すいか ⑬能登金時 ⑭能登ミニトマト ⑮能登長なす
 ⑯能登だいこん ⑰能登ブロッコリー

出典：金沢市農産物ブランド協会HP、能登風土で生まれた能登野菜、北陸農政局HPを基に作成

*地域団体商標（特許庁）を取得。（地域団体商標は、地域名と商品（サービス）名からなる「地域の名物」の名称を商標登録できる制度）